

9月のクラフトサークルの定例会は型染めをしました。

型染めといえば布地に柿渋など染料で染めたりするのを知っていましたが、今回のように杉板に焼き付けての型染めは、5年前に実施されたようですが、初めての方もあり、今回は久しぶりの作成でした。





素敵な作品が沢山できました。

まず型染め用の型紙（柿渋の渋紙）に下絵を写しました。





次にカッティングナイフで糊をつける部分をカットしていきます。

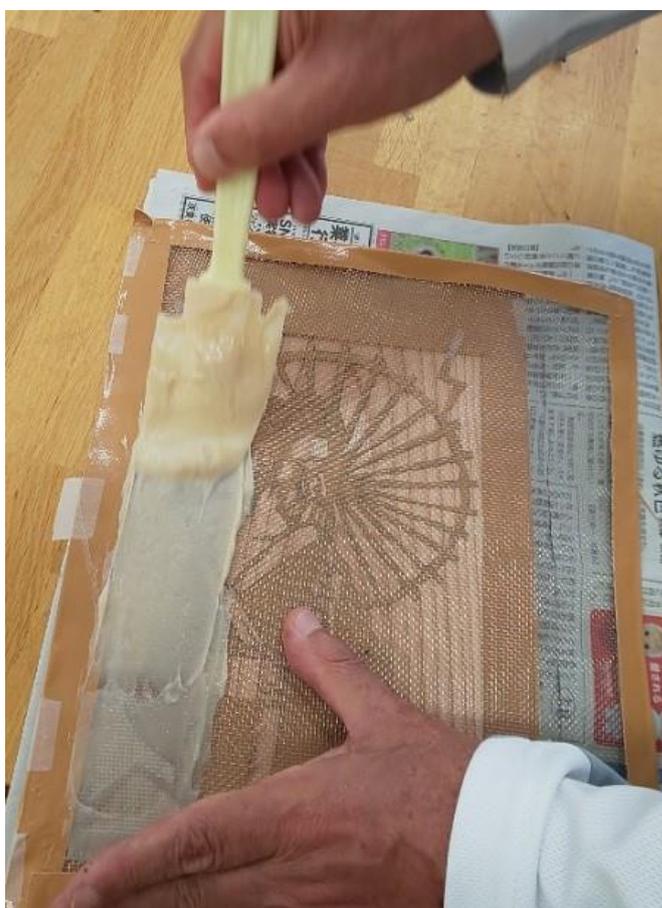
この方は朱雀を昨夜遅くまでかかって下絵を描かれてきたものをカットしています。どんな風になるか楽しみです。



こんな細かい絵をカットしている人もいました。残念ながらこの後最後までできなかったようです。



これは事前に家で何時間かかかってカットしてきたかたの同じ絵柄の型紙で染めの作業にかかっている様子です。



まずスギの板の上に型紙を置き、細かい金網で絵を抑え上から型糊を刷毛やへらで載せています。これがまた難しい。型紙の切った部分の模様には板に糊が付いているか不安です。



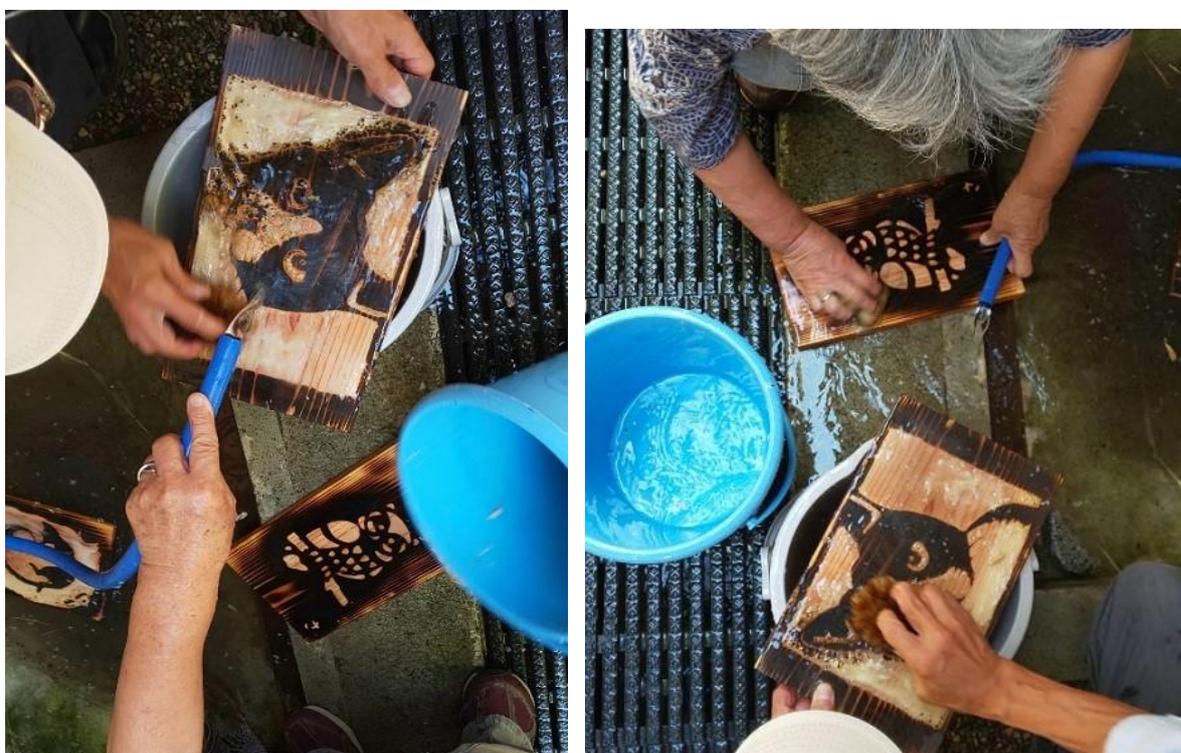
金網を外して型紙をまっすぐ上にあげて外します。  
糊の付きの悪いところは何とか糊を足して焼き付けた作品がこれです。



これはバーナーで板を焼いている様子です。  
絵が浮き上がってきましたね。



焼いた後板を洗って糊をはがしたり、焼いた表面を洗います。



このように、たわし等を使います。



半分焼いた板の下には上の絵とは違い線を焼いて楽しい作品ができていました。



加工した板を購入されて、その板に焼き付けて素敵な作品を作った方がいました。



これも素敵ですね  
今の季節に合います。



洗った作品を乾かしているのを撮影しました。



室内でも皆の作品を並べています。



また機会があれば挑戦したいです。

クラフトサークルに入って一緒に作品をつくりませんか？

まず飛鳥里山クラブの講座を受けて、飛鳥里山クラブに入会してクラフトサークルに参加しませんか。